



当院の退院支援と リハビリテーション科の関わりについて

JA秋田厚生連 湖東厚生病院
リハビリテーション科
筒井 聖也

はじめに①

【65歳以上人口】

- 秋田県 …… 38.8%
- 湖東地区(五城目, 八郎潟, 井川) ……
47.3%

【65歳以上の高齢者世帯率】

- 秋田県 …… 35.5%
- 湖東地区 …… 45.6%
 - 内, 一人暮らし世帯 …… 56.7%

はじめに②

- 秋田県 … 人口減少と少子高齢化問題
- 当院の医療圏 … 県内の中でも深刻
- 入院を契機に

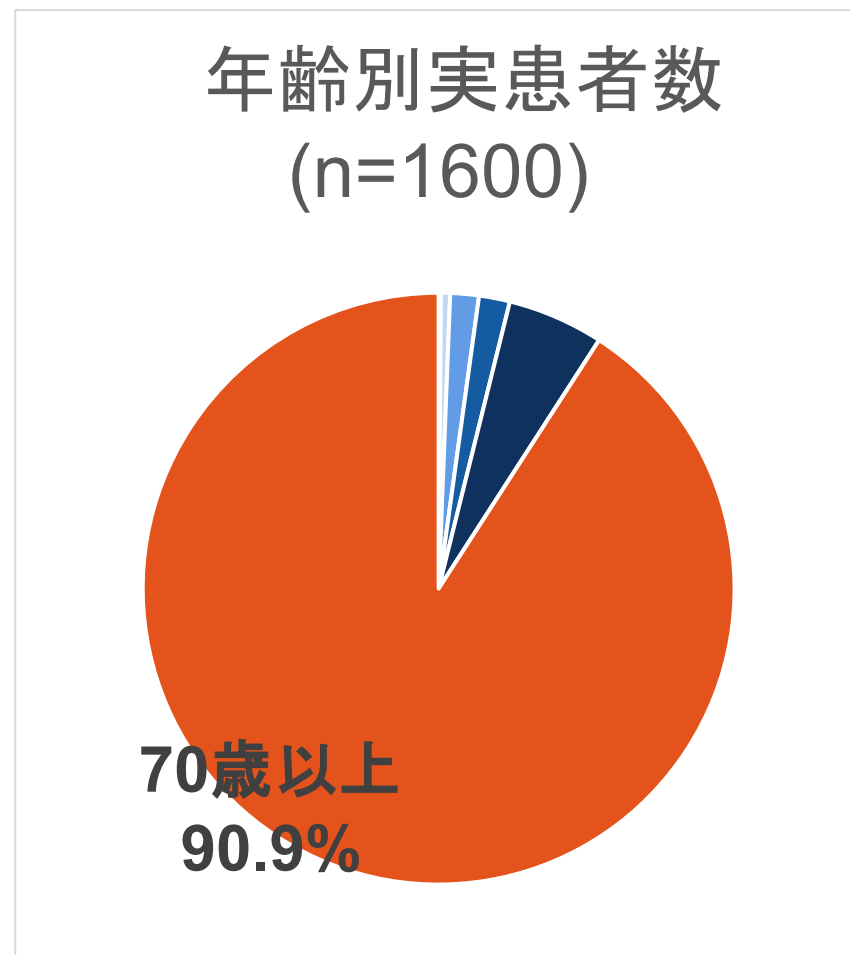
退院後の生活環境に変化が生じやすい



当院入院から退院後の生活まで、
切れ目のない退院支援が必要と考えている。

令和4年度 入院患者層

- 実患者数 …
1600件
- 70歳以上 …
1454件(90.9%)



令和4年度 実績

- カンファランス総件数 … 856件
- リハビリ依頼(オーダー)件数 … 339件
- リハビリスタッフのカンファランス参加件数
… 187件(55.1%)



リハビリが実施されていた患者の内、
カンファランス参加は半数以上だった。

当院の退院支援イメージ

入院

初回カンファランス

- ・退院先についての、**患者や家族の気持ちを確認**.
- ・入院前の生活状況を確認し、退院後はどのような福祉サービスが必要になるか確認.

中間カンファランス

- ・入院中の経過を確認.
- ・現在の情報を提供し、**退院先の方向性を決定**.

退院前カンファランス

- ・状態の確認と、サポートの最終調整.
- ・退院に向けて、**具体的な生活イメージを共有**.

退院

リハビリテーション科の関わり①

【リハビリスタッフの役割】

- カンファランスを通して、

『参加者が患者の退院後の生活を想像できる』

ように情報共有を行う。



具体的な生活イメージが持てる



リハビリテーション科の関わり②

【家族や施設への情報提供】

- 身体機能
- 動作能力
- ADL
- 退院後に必要なサポートの提案
介助方法, 福祉用具, 介護サービスの利用

etc..

リハビリテーション科の関わり③

- **イメージしやすい**伝達を目指す.
- 動画や写真などを積極的活用.

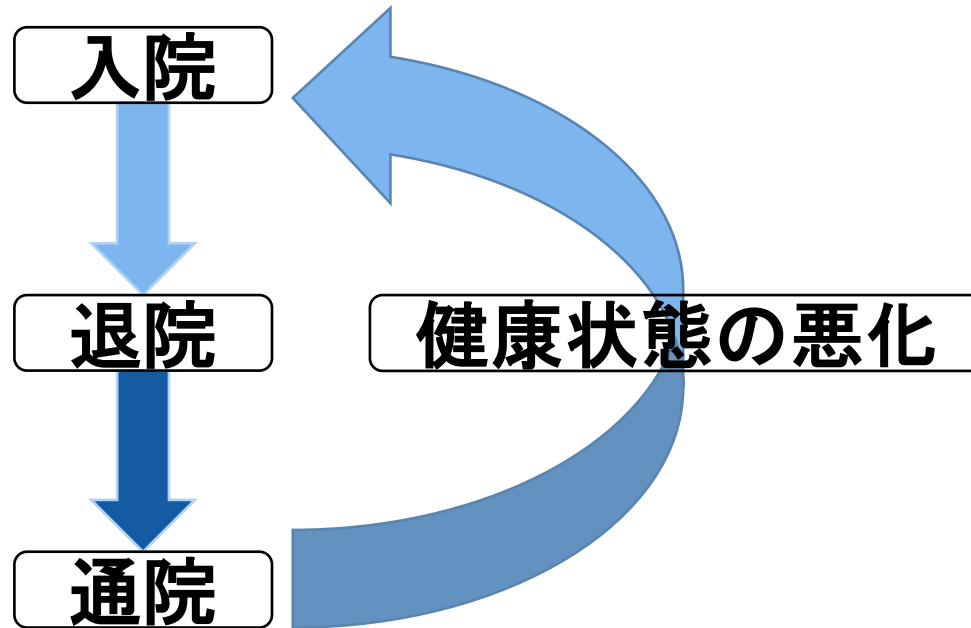
例として

- THA後 … 脱臼肢位についての注意,
予防に向けた生活指導
- 看取り目的の自宅退院 … 介助動作指導
ex.体位変換, 食事介助, ポジショニングなど
etc..

まとめ①

- 当院では、退院後の生活復帰が円滑となるよう、看護師を中心に積極的な退院支援活動を行っている。
- 入院時、患者や家族の気持ちに沿って目標が立てられる。
- 入院中、カンファランスを随時行い、**患者や家族と共に**具体的な生活イメージを固めていく。

まとめ②



- 入院時点から退院後の生活は始まっている
- 退院支援=状態悪化のリスクを減らす
- 悪化しても、生活に戻れる良循環を目指す
- **切れ目のない退院支援**